



ミルハス開館記念式典（6月5日）

市長コラム

# 日っ初っ心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

## ミルハス花開く

県の新型コロナウイルスの感染警戒レベルが、下から2番目の1に引き下げられ、ようやくほとんどの社会経済活動が可能になり、最近では祭りの開催など多くの場面で「3年ぶり」という言葉を聞くようになりました。

5月28・29日に開催された「東北絆まつり秋田」では、県内外から11万人ものお客さまを迎えることができました。竿燈など東北を代表する祭りが揃った28日夕方のパレードは、雨模様の肌寒い中にもかかわらず変わらず多くの観客が席を立たず最後まで観覧してくれました。それだけこの日を待ち望んでくれていたのかと思いき、胸が熱くなりました。翌日はうって変わって晴天に恵まれ、多彩な祭りやイベントが会場を盛り上げ、東北の夏の到来を感じさせる1日でした。

それから日も浅い6月5日には、あきた芸術劇場ミルハスの開館という待望の出来事がありま

した。優れた機能を有する大中のホールなどについては、他の機会に譲り自分なりの思いを述べたいと思います。

一つは、全館を通して秋田の自然や風土・歴史・伝統・文化のエッセンスがちりばめられているということです。特に、自然光が降り注ぐエントランスロビーを抜けた先で出迎えてくれる総合案内は圧巻です。樺細工・川連漆器・大館曲げわっぱを組み合わせ千秋公園の桜を表現しており、これだけで秋田を満喫した気分になります。ほかにもいたるところで秋田杉がふんだんに使われ、組子細工は多様な組み合わせで木材の美しさを表現しています。一つ一つがそれぞれ作品であり、私にとってはミルハスはさながら「ミニ秋田伝統工芸博物館」のように映ります。

二つ目は周囲との見事な一体感です。元々、千秋美術館から県立美術館・なかいち・文化創造館・明徳

館・佐竹史料館そして千秋公園に至るエリアを芸術文化ゾーンとして構想したのですが、実際にミルハスに身を置いてみると、改めてゾーンとして実感します。例えば4階の眺望ロビーからは中心市街地を見渡すことができ、普段見慣れているまち並みとはまた違う表情が見てとれます。東側のホワイエでは、中土橋からお堀を望む開放感の中、千秋公園から降り注ぐ新緑のシャワーを浴びているようで、思わず深呼吸しそうになります。新緑から深緑へ、紅葉から雪景色へと季節が巡っていくと思うと、何だか幸せな気分になります。

あともう一点お伝えしたいことは、コンサートや発表会などの特別な時だけでなく、ロビーやテラスなどは、待ち合わせや散歩の休憩などにもぜひおすすめです。お弁当やおやつを携えて立ち寄ってみてもいいですね。

◆市長の動向などは、市ホームページでお伝えしています。 <https://www.city.akita.lg.jp>



# 第3次 エイジフレンドリーシティ 行動計画がスタート!



概要版の表紙

## 基本理念

ともに暮るとともにつくる **エイジフレンドリーシティ**  
 誰もが心豊かにいきいきと暮らせる社会をめざして

人口減少・少子高齢化が急速に進行する中、秋田市では新たな視点での高齢化への対応として、WHOが提唱する「エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)」の趣旨に賛同し、2011年12月、日本国内の自治体として初めて、WHOが設立した「WHOエイジフレンドリーシティグローバルネットワーク」に参加しました。

このたび参加から10年が経過し、令和4年度から8年度までを計画期間とする『第3次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画』を策定しました。この計画では、右のとおり基本理念を掲げ、行政、市民、民間事業者の三者協働のもと、いくつになっても住み慣れた地域で役割や居場所を持ち、互いを認め合いながら豊かに暮らすことのできるまちの実現をめざします。計画は市ホームページでもご覧いただけます。

広報ID番号 100052005  
 問い合わせ▶長寿福祉課 ☎(0888)56666

## 基本目標

WHOが定義した「高齢者にやさしい8つのトピック」をもとに、基本理念を実現するためのまちづくりの方向性を示すものとして、次の8つの基本目標に基づき、市全体でさまざまな取り組みを行っています。

- 1 安全・安心で誰もが快適に過ごせる屋外・施設環境の整備
- 2 交通機関の利便性の向上
- 3 安心して快適に住み続けられる住環境の整備
- 4 生涯を通じた生きがいづくりや社会参加の促進
- 5 あらゆる世代がお互いを認め合う地域社会づくり
- 6 高齢者の就業や市民参加の機会創出
- 7 高齢者の情報環境の整備
- 8 多様な生活支援サービスを利用できる地域づくり



## 重点方針

社会情勢を捉えた課題に対応するための方針として「目指すまちのすがた」を設定しました。

- 1 あらゆる世代にエイジフレンドリーシティ意識が醸成されたまち
- 2 多様な住民主体の活発なコミュニティ活動が見えるまち
- 3 エイジフレンドリーを身近に感じられるまち
- 4 高齢者がいきいきと活躍できるよう産学官民一体で取り組んでいるまち

## 8月24日は エイジフレンドリーシティの日

8月24日は「エイジフレンドリーの日」です。  
 8月24日(水)エイジフレンドリー映画祭初日、記念講座、エイジフレンドリーパートナー事業者スタンプラリー開始  
 8月27日(土)記念イベント

特別講演  
 雑誌「ハルメク」編集長が伝えたい  
 素敵に年を重ねるための「やめる習慣」始める習慣



参加無料  
 定員(抽選)150人

日時▶8月2日(火)午後3時~4時30分  
 会場▶アルヴェエ2階多目的ホール  
 講師▶(株)ハルメクホールディングス取締役で雑誌「ハルメク」編集長の山岡朝子さん  
 【申し込み】往復はがき(一通に1人)の往信欄に、住所、氏名、年齢、電話番号、返信欄に、住所、氏名を書いて、7月11日(月)必着までに、〒010-8560  
 秋田市役所長寿福祉課「エイジフレンドリーシティ講演会聴講希望」係